

# ホクレンくみあい・雪印飼料(株)の飼料工場のご紹介

2019年4月に、配合飼料の安定供給と製造コスト低減を目的に、ホクレンくみあい飼料(株)と雪印種苗(株)が合弁で「ホクレンくみあい・雪印飼料(株)」(以降、HKS)が苫小牧に設立されました。

全農系飼料会社と工業系飼料会社が共同で出資する初めての合弁会社は、飼料業界では例をみないことでしたが、ホクレンくみあい飼料(株)苫小牧工場及び雪印種苗(株)苫小牧工場が互いに工場の老朽化の課題を抱えており、単独での工場改修・新設は現在の道央エリアの市場環境をみても難しい状況でありました。ホクレンと当社は、以前より配合飼料の相互受委託を行っていたこともあり、合弁会社設立に至りました。

2019年4月より新工場の建設が始まり、2年以上の建設期間を経て当初の計画通り、2021年12月から配合飼料の製造が開始されました。

HKS新工場はホクレンくみあい飼料(株)苫小牧工場の敷地内でスクラップ&ビルド方法での建設の為、ホクレンくみあい飼料(株)の工場閉鎖とほぼ同時に飼料の製造が開始され準備期間も無く、更に年末の需要期も重なり毎日夜を徹して製造が行われました。

2022年1月から、当社苫小牧工場からの製品移管が徐々に始まりましたが、なかなか計画通りの製造が出来ませんでした。しかしながら当社の苫小牧工場閉鎖スケジュールもあり、HKS社員の努力のもと3月末には全量移管が終わり、36年続いた雪印種苗(株)苫小牧工場の操業は終了となりました。

雪印種苗(株)の拘った品質、特にトウモロコシについては、雪印種苗(株)苫小牧工場の品質を再現出来るような設備、ペレット品質など、更なる品質向上を目指した設備を導入しています(エクスパンダー設備(飼料の固形化設備)など)。

現段階では、細かな品質改善点は見受けられますがHKS、雪印種苗(株)、ホクレンくみあい飼料(株)が改善に向けて協力しているところです。

建設工事は続いていて、現在は製品倉庫棟の建設が行われています、完成は2022年11月予定。この工事が終了しますと全ての建設工事が終了となります。

今後とも当社配合飼料製品をご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。



ホクレンくみあい・雪印飼料(株)外観(左枠内)



中央操作室



エクスパンダー設備(A飼料(牛)製造工場日本初導入)



トランスバック充填設備